

COC成果指標と主要活動実績概要（平成28年度）

－広島大学地(知)の拠点中山間地域島しょ部対策領域－

I 連携市町・市町の指標

A. COC連携地域 11地域	
①広島市太田川漁協、②東広島市JA芸南、③東広島市ファーム・おだ、④呉市大長、⑤三次市道の駅ゆめランド布野(大前農園、江の川漁協含む)、⑥世羅町大豊農園、⑦世羅町幸水農園、⑧安芸太田町井仁(棚田)、⑨大崎上島町食文化海藻塾、⑩大崎上島町金原農園(シトラスかみじま)、⑪東広島市安芸津漁協	
B. COC連携市町・県 4市3町 1県	
①広島県中山間地域振興課、②広島市水産課&企画調整課、③東広島市農林水産課&企画課、④呉市農林水産課&豊市民センター ⑤三次市企画調整課&布野支所、⑥世羅町産業振興課、⑦安芸太田町地域づくり課、⑧大崎上島町地域経営課	

II 活動成果指標（活動内容と参加延べ人数）

項目	活動名	内容	延べ参加数	参加内訳	備考
1. 円卓フォーラムの開催（一般公開+全学対応授業）				180	
	事前学習	フォーラム・ワークショップの進め方、地域課題など	132	学生 130名、教職員2名	
	フォーラムの開催	テーマ:地域と学生が作る人材育成プログラム～活動の評価と提案～	180	学生 130名、教職員20名 連携市町20名	29.1.19
	フォーラムにおけるワークショップ	求める、求められる人材育成プログラム	180	学生 130名、教職員20名 連携市町20名	29.1.19
2. 教養ゼミ体験授業の実施				1,811	
	オリエンテーション	体験計画と地域の概要	119	学生104名+教職員15名×1コマ	
	事前学習	体験内容と地域の学習	228	104名+教員10名×2コマ	
	体験授業	外部講師現地講義	202	学生・TA参加者130名(10班)+教職員50名+外部講師22名×1コマ	
		地域指導者フィールド演習	920	学生・TA参加者130名(10班)+教職員50名+地域・市町50名×4コマ	
	ふり返り授業	提案・反省・まとめ等	114	学生104名+教職員10名×1コマ	
	発表会の準備	プレゼン資料作成	228	学生104名+教職員10名×2コマ	
3. 教養ゼミ体験授業発表会の実施				270	
	発表会(前半)	前半5グループの発表	135	学生・TA110名+教職員15名+地域・市町10名×1コマ	
	発表会(後半)	後半5グループの発表	135	学生・TA110名+教職員15名+地域・市町10名×1コマ	
4. 秋の体験学習の実施（全学対応 教養ゼミフォローアップ）				336	
	課外体験学習	1地域	336	学生TA延べ30名×4コマ 教職員延べ4名×4コマ 現地参加30名×4コマ 現地指導者20名×4コマ	
5. 特別講座の実施（地域講師）全学対応授業&公開講座				663	
	講師打合せ	講師との事前調整	39	(講師13名+教職員2名)×訪問等13回	
	ガイダンス	講師紹介・関係地域紹介	63	学生60名+教員3名×1コマ	
	講義	外部講師13名による講義	561	学生60名×7コマ=420名 教員延べ28名 外部講師13名 一般50名	
6. インターンシップの実施（全学対応授業）				1,242	
	ガイダンス	受入地域・学生の心得説明	23	学生20名 教職員3名	
	学生個別指導	研修に当たって知識向上のための事前学習	116	学生21名×2回 学生対応教職員2名×12回 教職員地域調整2名×5箇所×2回 地域市町3×5箇所×2回	
	インターンシップ現地研修	5泊6日×4名 1箇所 4泊5日×17名 4箇所	1103	5泊6日×4名=20泊24日 4泊5日×17名=68日85日 学生研修総日数 109日=5コマ数換算 545名 教職員延べ12名×4コマ 現地指導者2人×6箇所×5コマ×5.6日=310名 市町延べ100名×2	
7. フィールド演習・授業の実施				317	
	演習	食料社会経済学演習 4コマ	62	学生10名+教員3名×4コマ=52名 地域講師10名	
	体験航海	2泊3日×20名	255	学生15名×3日×5コマ=225名 教員2名×3日×5コマ=30名	
	COC活動評価・改善の学生グループ討議(授業)		204	学生100名×2コマ 教員2名×2コマ	
8. 地域貢献・普及活動					
8-1. 講演依頼等				54	
	三次青年会議所例会 講演		54	本学教職員3名、学生1名、青年会議所50名	
8-2. 大学祭 連携地域マルシェ				104	
	マルシェ手伝い	特産品・地域PR紹介	104	学生6名×3コマ、地域20名×4コマ	
8-3. 公開講座の開催（特別講座の公開講座化）					
				公開講座 7回 実績数値は特別講座に計上	
9. 共同研究（学生による地域特産品開発）				565	
	アイスの共同開発	三次市道の駅ゆめランド布野とアイスの共同開発 アイスのお披露目・販売会	565	学士独自10名×5回×2コマ (学生20名、教職員5名、地域・市町5名)×3回×3コマ (学生30名、教職員10名、地域市町10名)×2回×2コマ	
10. COC活動評価・独自アンケート・意向調査の実施				344	
	意向調査	聞き取り調査	360	教職員1カ所2名×24カ所×3コマ 連携市町・地域1カ所3名×24カ所×3コマ	
	アンケート調査	学生地域志向アンケート	100	調査対象:学生100名	
		学生体験授業アンケート	100	調査対象:学生100名	
		学生インターンシップアンケート	57	調査対象:学生57名	
		学生特別講座アンケート	37	調査対象:学生37名	
		市町・地域アンケート	50	調査対象:連携市町・地域担当者×2回	
11. 地域連携活動・会議等（各地域会議等）の実施				350	
	地域会議等	連携地域・市町との会議等	350	教職員平均2名×16箇所×2回×2コマ=128名（教ゼミ・インターン系） 地域平均3名×16箇所×2回×2コマ=192名（教ゼミ・インターン系） 学生参加 総数30	
活動延べ総数			7,112名		
	うち学生	4,299	うち教職員	952	
	うち地域・市町	1,671	その他	190	

III 活動成果指標(外部発信の回数)

1. 報道・広報実績		16回
【プレスリリース:4回】 読売新聞:1回 中国新聞:7回、プレスネット:1回 CATV:5回、文教ニュース:1回、文教速報:1回		
2. その他		
【特産品開発】 アイスクリーム(オリゼさんのアイ酒) 販売実績 約5000個/年		

IV アンケート調査指標

1. 教育効果学生アンケート調査結果		
学生へのアンケート調査項目		受講生100人中の回答割合
教養ゼミ(地域体験学習PBL)の満足度		満足:97% 評点:4.5点/5点
地域や産業が抱える問題発見能力が高まったか		94% が高まった
地域や学生と協働する能力が高まったか		96% が高まった
地域課題を解決する行動力が養成されたか		91% が養成された
体験学習によるPBLの有効評価		97% が有効と評価
地域貢献・地元就職への意識が高まったか		91% が高まった
農山漁村に関わる仕事に就きたいか、移住したいか		26% がしたい